

# CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 24/May/2021/vol.639



## ミヤコワスレ・野春菊 (徳島県産) "Miyakowasure" Gymnaster

あしらいとして、楚々とした印象を与える小さな花。物憂げな「ミヤコワスレ」という名前は、かつて鎌倉時代において承久の乱に敗れた順徳天皇が佐渡島に流された際に、この花を見て心を癒し慰め、都への想いや恋しさを忘れたとの伝承によるといわれています。しかし実際にこの花が流行したのは江戸時代で、特に濃い紫色のものが人気だったそう。実はミヤコワスレの花には他にも様々な種類があるといわれています。良く茶花として床の間に飾られ、お点前の時間を和やかに演出したり、昔から庭木下の植え込みに客人をお迎えするべく植えられていた光景は、日本人であればどこかしらで経験した、懐かしい光景そのものであるかもしれません。小さいながら可憐で、優しい面持ちのこの花は、命名の由来によって「別れ」や「しばしの憩い」などロマンティックな花ことばを持っています。昔から日本人の心をつかんできた小さな「ミヤコワスレ」、お料理の近くで、清らかで柔らかな空気感を演出してくれるでしょう。